

## JAMA/JAPIA統一データシート改正内容のまとめ

- 本資料は、JAMA/JAPIA統一データシートのバージョンアップによる変更点をまとめたものです。  
(変更前 :Ver.2.00 変更後 :Ver.2.01 [06年10月1日リリース予定])
- 最新版のJAMA/JAPIA統一データシートは、06年10月以降、JAPIAホームページより入手することができます。
- JAMA/JAPIA統一データシートは、今後もバージョンアップされる可能性があります。

2006年9月25日  
(社)日本自動車部品工業会  
環境負荷物質WG

# .JAMA/JAPIA統一データシート本体の改正内容

[ jamasheet\_jp.xls(日本語版) および jamasheet\_jp.xls(英語版) ]

## 1.表紙のページ

| JAMA統一データシート  |   |
|---|---|
| Ver.2.01<br>2006年10月1日  |   |
| JAMA統一データシートの改正を、下記の通り実施します。<br>当初の改正版 (Ver.2.00)に加え、直後にIMDSのバージョンアップがされたため、その対応版として小改正版 (Ver.2.01)を発効しました。<br>(外部リストの改正も実施しましたので確認ください。)<br>本年10月1日以降 Ver.2.01を基本に調査を実施することになります。必要であれば調査元、調査先で調整の上、対応ください。<br>以下に、両改正版の実施通知(表紙)を添付します。  |   |
| JAMA統一データシートの改正 (Ver.2.00)について  | 2006年4月1日<br>(社)日本自動車工業会<br>(社)日本自動車部品工業会 |
| 1. 改正の背景<br>JAMA統一データシートは、既に関係自動車メーカー及び部品メーカーにて使用されている。現在、(社)日本自動車工業会(以下JAMAと記す。)会員の大半の自動車メーカーがIMDSを使用していること、及び特に(社)日本自動車部品工業会(以下JAPIAと記す。)会員の多くの部品メーカーにおいては、IMDS入力の基本データとして本データシートが使用されている状況を考慮すると、IMDSデータ様式とJAMAデータシート様式の間で整合が図れていることが入力負荷等の観点から望ましい。そこで、その整合化推進を主目的に、調査項目及びデータシート様式を見直すこととした。<br>また、この改正にあわせサプライヤー間のデータ収集は、原則としてJAMA統一データシートもしくはIMDSを利用して収集する方法で統一化を図ることとした。<br>(注)IMDS:International Material Data System |   |
| 2.改正の内容要旨(改正版は、Ver.2.00とする。)  |   |
| (以下、省略)   |   |

<バージョン、改正日>  
更新

<前書き>  
追記

<従来の説明部分>  
一部、誤記訂正あり

(次ページに続く)

## JAMA統一データシートの改正(Ver.2.01) :IMDSバージョンアップ(Release 4.0)対応について

2006年10月1日  
 (社)日本自動車工業会  
 (社)日本自動車部品工業会

### 1. 改正の背景

IMDSバージョンアップ(Release 4.0 2006年5月18日適用済)に合わせ、JAMA (調達委員会データシート展開WG)及びJAPIA (環境委員会環境負荷物質WG)の協議により、「JAMA統一データシート」の改正を実施する。

### 2. 改正の内容(改正版は、Ver.2.01 とする。)

IMDSバージョンアップ(Release 4.0 2006年5月18日適用済)に合わせ、下記の入力内容を改正する。

- (1) 社内材料コードの入力欄追加
- (2) 再生材使用率の入力チェック変更(金属 :VAD材料分類コード:1、2、3、4へ入力)
- (3) 材質表示の入力チェック変更
- (4) 化合物の公差チェック追加 (IMDS Recommendation 001に準拠)

また、同時に外部リストについても見直しを行ったため、最新版を入手する必要がある。  
 (最新の外部リスト: EXLIST-2006-10-01JP.xls)

### 3. 運用開始時期

本改正版の運用を2006年10月1日より開始する。

以上

< 今回の改正の背景 >  
 追記

### 操作方法

#### (1) 外部リストを入手します。

・JAPIAのホームページからダウンロードして下さい。

<http://www.japia.or.jp/>

・外部リストの保存先は、本帳票と同じフォルダにして下さい。  
 同じフォルダでないと、データ入力・エラーチェックができません。

【注】ダウンロードはJAPIA会員IDを有するメンバーのみ可能です。

非会員(ID非所有)の調査先は、調査元である自動車メーカーから入手して下さい。

#### (2) データを入力して下さい。

・本帳票の入力要領に従い、データを入力します。

・本帳票をExcelにて開く際には、マクロを有効にする必要があります。

(Excelメニュー [ツール(T)] [マクロ] [セキュリティ(S)]を開き、セキュリティレベルを確認 [中(M)] にして下さい)

・行全体をコピーする場合は、[行複写] をクリックして下さい。

・行全体を削除する場合は、[行削除] をクリックして下さい。

・[選択] をクリックすると一覧表から選択して入力することができます。

【注】自工会製品含有化学物質リストから閾値以上含有する化合物について、入力する必要があります。

(例) 鉛(Pb)、水銀(Hg)、6価クロム(Cr6+) 0.1重量%

カドミウム(Cd) 0.01重量%

#### (3) 入力データのエラーチェックをします。

・入力画面の[入力データのチェック]をクリックすると、エラーチェックが行われます。

エラーチェックが完了すると、「エラーはありません」と表示されます。

(以下、省略)

< 操作方法 >  
 一部修正 (赤字部分)

## 2.入力帳票のページ

### (1) 材料コード(金属・その他) [項目番号17]

|        |  |
|--------|--|
| 項目番号   | 17   |
| 項目名称   | 構成材料<br>材料コード<br>(金属・その他)  |
| 定義     | 樹脂・ゴム以外の「金属・その他」の場合は、公的材料規格で指定された記号<br>「MDS4.0にて追加された標準材料コード」に相当 |
| 記入者    | 調査先  |
| 必須     | 必須<br>(金属・その他の材料を入力する場合)   |
| データ型   | 半角英数字  |
| 桁数(整数) | 20   |
| 桁数(小数) | 0  |

< 定義 >  
追記

(注) 同様の内容を入力要領のページにも反映しています。

## (2) 再生材使用率 [項目番号28～31]

| 項目番号   | 28   | 29   | 30   | 31   |
|--------|--|--|--|--|
|        | リサイクル  |  |  |  |
| 項目名称   | 再生材使用率<br>(工程内リサイクル材)<br>最小値                                   | 再生材使用率<br>(工程内リサイクル材)<br>最大値                                   | 再生材使用率<br>(市場回収材)<br>最小値                                       | 再生材使用率<br>(市場回収材)<br>最大値                                       |
| 定義     | 工程内リサイクル材(再生材)が<br>使用されている材料について、<br>その使用率の最小値<br><br>[%]      | 工程内リサイクル材(再生材)が<br>使用されている材料について、<br>その使用率の最大値<br><br>[%]      | 市場回収材(再生材)が使用<br>されている材料について、<br>その使用率の最小値<br><br>[%]          | 市場回収材(再生材)が使用<br>されている材料について、<br>その使用率の最大値<br><br>[%]          |
| 記入者    | 調査先  | 調査先  | 調査先  | 調査先  |
| 必須     | 必須<br><br>(VDA材料分類コードが<br>1.*、2.*、3.*、4.*、5.*の<br>材料の最上行のみに入力) | 必須<br><br>(VDA材料分類コードが<br>1.*、2.*、3.*、4.*、5.*の<br>材料の最上行のみに入力) | 必須<br><br>(VDA材料分類コードが<br>1.*、2.*、3.*、4.*、5.*の<br>材料の最上行のみに入力) | 必須<br><br>(VDA材料分類コードが<br>1.*、2.*、3.*、4.*、5.*の<br>材料の最上行のみに入力) |
| データ型   | 半角数字   | 半角数字   | 半角数字   | 半角数字   |
| 桁数(整数) | 3  | 3  | 3  | 3  |
| 桁数(小数) | 4  | 4  | 4  | 4  |

< 必須 >  
入力必須条件を拡大  
金属にも入力

(注) 同様の内容を入力要領のページにも反映しています。

## (3) 社内材料コード [項目番号48]

|        |         |
|--------|---------|
| 項目番号   | 48      |
|        | 構成材料    |
| 項目名称   | 社内材料コード |
| 定義     | 材料の識別番号 |
| 記入者    | 調査先     |
| 必須     | 任意      |
| データ型   | 半角英数字   |
| 桁数(整数) | 50      |
| 桁数(小数) | 0       |

項目追加

(注) 同様の内容を入力要領のページにも反映しています。

### 3.エラーチェック機能の変更

IMDSのバージョンアップ(IMDS4.0)との整合化のため、エラーチェックを変更します。

| 項目                                  | 変更内容   | 補足説明   |
|-------------------------------------|--|--|
| 再生材使用率<br>[項目番号 28～31]              | VDA材料分類コード:1.*、2.*、3.*、4.* に対しても入力必須とする。   | 未入力の場合、エラーチェックの際に「0」が設定されますのでご注意ください。<br>正しい値を入力する必要があります。 |
| 材質表示<br>[項目番号 32]                   | 入力必須の場合にも、「N」を入力可とする。<br><br><入力必須の条件><br>VDA材料分類コードが5.1.a、5.1.b、かつ材料質量の合計が100g以上、もしくはVDA材料分類コードが5.3かつ材料質量の合計が200g以上の材料を含む構成部品 | 「N」は材質表示をしていないという意味になります。<br>入力の際はご注意ください。                 |
| 化合物含有率<br>(最小値、最大値)<br>[項目番号 42、43] | 化合物含有率のばらつきに制限を持たせる。<br>(警告となります)  | ばらつきの制限値はVDA材料分類コードごとに異なります。<br>詳細は「操作手順書 部工会オプション」を参照下さい。 |

## 4 .IMDSアップロード機能の変更

IMDS Recommendation 001の改正に伴い、「構成材料」の入力ルールが変更されました。これに伴い、JAMA/JAPIA統一データシートのIMDSアップロード機能を変更します。

| IMDSの項目<br>(材料情報) | 入力すべき内容<br>(IMDS Recommendation 001のルール)  | JAMA/JAPIA統一データシートの<br>アップロード機能の変更   |
|-------------------|---|--|
| 材料名称              | 公的材料規格にて規定されている<br>「材料コード」もしくは「材料記号」<br><br>(例) 金属 :S45C、SUS301 など<br>樹脂 :PE、PET など | ・外部リスト(MATシート)に「IMDS登録名称」を規定、その内容をアップロードする。<br>・海外規格等で、「IMDS登録名称」が規定できない材料については、ユーザがJAMA/JAPIA統一データシートの「材料コード」もしくは「材料記号」に入力した値をアップロードする。 |
| 備考                | 材料の一般的な名称<br><br>(例) 金属 :Stainless Steel など<br>樹脂 :Plastics など                      | ・ユーザがJAMA/JAPIA統一データシートの「構成材料名称」に入力した値をアップロードする。   |

### [ 注意事項 (重要) ]

IMDS Recommendation 001にて規定されている入力ルールは、アップロードする場合のみでなくIMDSにデータを直接入力する場合にも適用されます。

今後は、このページに記載されているとおり入力方法を変更する必要があります。



## (1) 材料情報のアップロード事例 (金属材料)

| JAMA統一データシート |      |
|--------------|------|
| 項目           | 入力事例 |

|        |                        |
|--------|------------------------|
| 表面処理識別 |                        |
| 構成材料名称 | Stainless Steel SUS304 |
| 材料商品名  |                        |
| 材料規格   | JISG4303               |

|            |        |
|------------|--------|
| 標準材料コード    | SUS304 |
| 社内材料コード    |        |
| 材料記号       |        |
| VDA材料分類コード | 1.1.2  |

|             |        |
|-------------|--------|
| IMDS登録名称(仮) | SUS304 |
|-------------|--------|

| IMDS |      |
|------|------|
| 項目   | 入力事例 |

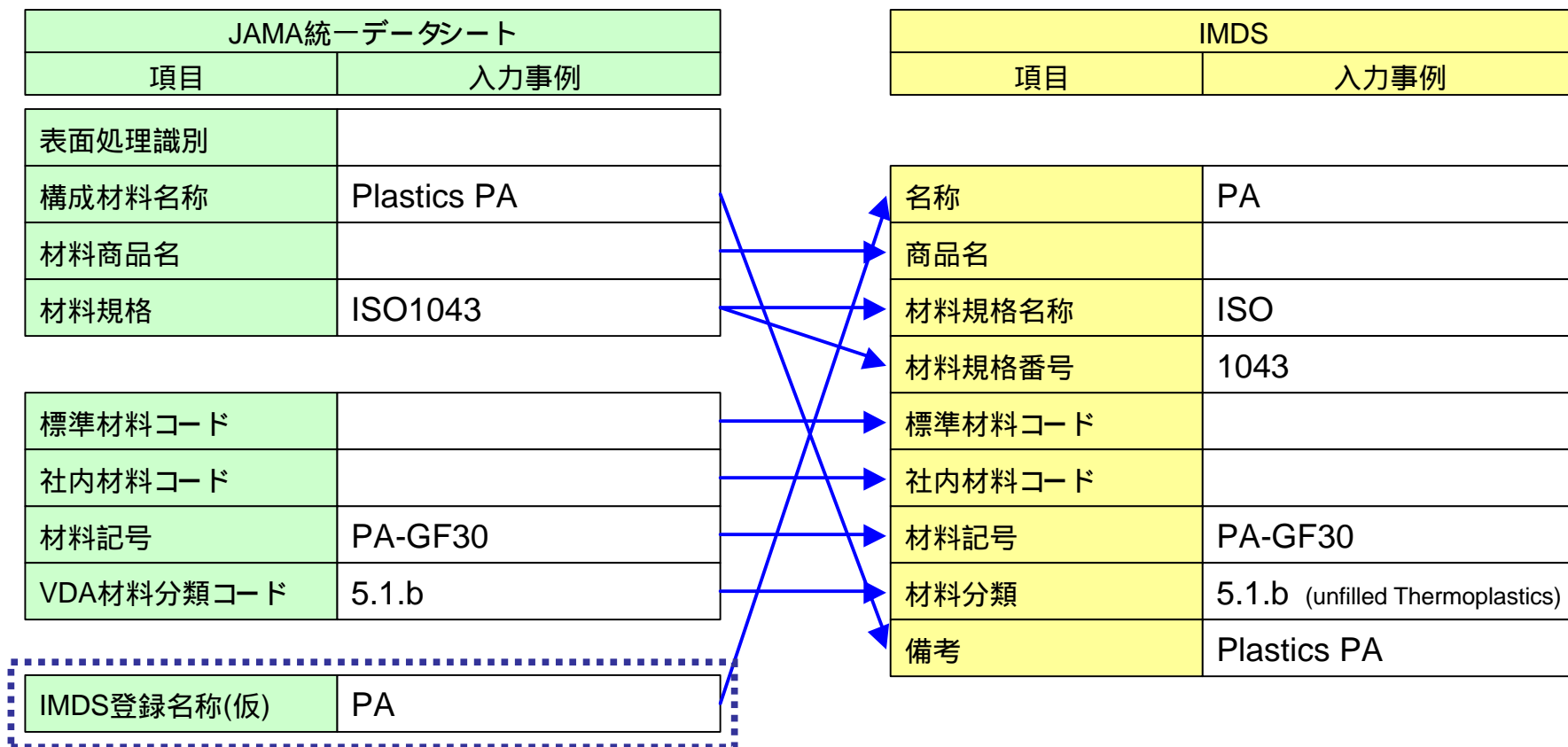
|         |                        |
|---------|------------------------|
| 名称      | SUS304                 |
| 商品名     |                        |
| 材料規格名称  | JIS                    |
| 材料規格番号  | G4303                  |
| 標準材料コード |                        |
| 社内材料コード |                        |
| 材料記号    |                        |
| 材料分類    | 1.1.2 (highly alloyed) |
| 備考      | Stainless Steel SUS304 |

JAMAシートに追加される新規フィールドで不可視属性  
値は外部リストから自動入力され、ユーザーは意識しない  
海外規格等で特定できない場合は、ユーザが入力したデータ(標準材料コードor 材料記号)を利用

## [注意事項]

- 標準材料コード/材料分類が1.\* もしくは 2.\* の場合のみアップロード (IMDSと同一)
- 商品名、社内材料コード:サプライヤの任意入力のため、ユーザが入力した場合のみアップロード

## (2) 材料情報のアップロード事例 (樹脂材料)



JAMAシートに追加される新規フィールドで不可視属性  
 値は外部リストから自動入力され、ユーザーは意識しない  
 海外規格等で特定できない場合は、ユーザが入力したデータ(標準材料コードor 材料記号)を利用

# .JAMA/JAPIA統一データシート外部リストの改正内容

[EXLIST-2006-10-01JP.xls(日本語版) および EXLIST-2006-10-01EN.xls(英語版) ]

| 外部リストのシート                | 変更内容  |
|--------------------------|---|
| 材料リスト<br>[MAT]           | 外部リスト(MATシート)を最新版に更新しました。<br>詳細は「材料リスト解説書」を参照して下さい。                     |
| 化合物リスト<br>[IMDS_SUB]     | IMDS BSL(Basic Substance List)の更新を反映しました。                               |
| 材料規格名称リスト<br>[IMDS_NORM] | IMDSに登録されているOEM規格を追加しました。<br>これにより、OEM規格を手入力した場合、IMDSにアップロードできるようになります。 |